



質問者 堀 靖議員

広域連携（定住自立圏）について

**問** 本市が目指している中心市としての役割と近隣市町の役割はなにか。

**答** 中心市の役割は人口減少、地域医療、産業の活性化、雇用対策などの課題を中心的な都市機能を活用し、地域全体のマネジメント等を行う。

近隣市町はこれに連携協力することで、圏域全体で生活機能を確認し、圏域の人口定住を促進しようとするものである。

**問** 姫路市が進めている連携中枢都市圏と定住自立圏はどんな関係か。

**答** 国の要綱で目的が示されているが、基本的な考え方は同じである。

定住自立圏の役割として、連携中枢都市圏より、圏域エリアも狭く、地域に密着した課題を連携し解決する役割を担う。

瀬戸内の環境保全について

**問** 河川の保全が、結果的に瀬戸内の環境保全に繋がると考えるが、河川と海を連携させた瀬戸内の環境保全をどのように考えているのか。

**答** 瀬戸内海の環境保全を考える上では、総合的な環境保全が必要であり、市民、事業者の意識高揚はもとより、国、県等との連携を強化し、適正な管理、保全及び整備に努めていく。

新しい橋の設置について

**問** 龍野新大橋と正條橋（国道2号線）の間に新たな橋の計画を考えてはどうか。

**答** 新たな橋の整備により、交通渋滞緩和に加え、交通網の形成や地域内交通促進等が期待されるため、その効果は非常に大きいものと認識しているが、大変厳しい財政状況の中、橋梁架橋のような相当な期間と莫大な費用を要する事業については、兵庫県に対して、支援を要望していきたい。

旧高等学校跡地活用再生事業について

**問** 少子化時代になぜ、学校法人等を考えているのか。また、その場合に市への寄与はどのようなことが考えられるのか。

**答** 職員で構成する龍野実業高等学校跡地利用検討委員会で検討してきた結果、若者が集い、まちが賑わい、地域の発展に寄与する施設をいかに構想し整備するかとの概念も、県より土地の無償譲渡の条件として、公共的・公共的施設に活用しなければならぬことから、文教施設として高等教育機関の誘致の可能性を探ることとした。

市への寄与については、地域経済の波及効果が大きいものと推定しており、具体的な内容が判明次第、効果の測定などに取り組む予定である。

現時点では、第一歩を踏み出したところで、関係機関との連携のもと、慎重に事業推進していく。



質問者 堀 明廣議員

本市における地方創生への取組について

**問** 市内の限界集落または、その危惧がある自治会はどれくらいあり、その対策に今後どう取り組むのか。

**答** 限界集落に該当する自治会は2自治会で、その危惧がある自治会は17自治会となっている。対策については、地域の実情に応じて様々な人口減少対策を策定していく。

**高度医療施設の誘致について**

**問** 県立循環器病センターが姫路駅東側に移設する方針が新聞に掲載されていたが、市民病院は売却して、この病院を龍野インターの南側に誘致してはどうか。

**答** 本市の価値を高める意味では、共感でき誘致が可能であれば、当然協力をすべきで、機会を見

つげトップセールスをしたいと考えているが、企業庁とは播磨科学公園都市に誘致したいと協議しており、今後整理し、提案の件を検討してみたい。

**財政の健全化に向けて**

**問** 毎年約7億円を一般会計から繰り入れる市民病院を存続させるのか。

**答** 現在、経費削減と収入増加の両面において対策を講じ経営改善に鋭意取り組んでいる。

**庁舎玄関付近のエレベーターの新設について**

**問** 本庁舎正面玄関に設置が必要と考えるがどうか。

**答** また、御津総合支所はエレベーターの設置はどうか耐震化もされていないがどうなっているのか。

建替え等も、今後検討していかねばならない。

**インフラ整備に関する要望の進捗状況について**

**問** 平成23年3月11日に、香島橋下流の交差点改良及び信号機の設置について、私が当時の担当部長及び課長同席のもと、国交省へ事業協力の要望を伝えた結果、工事が進められているが、完成時期はいつ頃か。

**答** 工事業主体である兵庫県より、本年7月頃の完成予定であるが、信号機の設置は、兵庫県公安委員会の決定事項であり、設置時期は未定と聞いている。

**市長の県議会議員時代の政務活動費について**

**問** 市民団体による政務活動費の領収書の筆跡鑑定で同一人物によるものとの結果が出ており、今後、たつの警察が告訴を取り上げなければ、警察庁に申し出ると言っているがどう考えているのか。

**答** そういったことがあれば、しっかりと正当性を主張していく。